

2024年度 日本工学院八王子専門学校											
スポーツ健康学科 スポーツビジネスコース											
スポーツ社会学											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	金森 純			実務 経験	有	職種	研究教育機関				
授業概要											
健康増進、経済活性化、国際競技力の向上といった日本のスポーツ振興に関わる政策の方向性や人権や公正といったスポーツに関わる法律や指針について学びます。											
到達目標											
わが国のスポーツ振興の現状を理解し、その長所と短所を考察できるようになることを到達目標とします。また、今後望まれるスポーツ行政の在り方を提示できるよう意識してください。またその日のテーマとなる事象について、行政、地域、参加者、観客などの多様な利害関係者の視点を意識し、それぞれの立場に立ちながらディスカッションに参加しましょう。そこでの議論を元に思考を深め、口頭あるいは文章として、自らの考えを表現する力を身に付けることを到達目標とします。											
授業方法											
本授業は全て講義形式で行います。詳細は初回講義時に説明しますが、パワーポイントを用いて講義を進め、資料を配布します。出席者にも意見を求め、ディスカッションを行いながら進めるので、自分の言葉で意見を言えるよう準備をしておくよう心掛けましょう。また毎回授業の最後にリアクションペーパーを課します。限られた時間と紙幅の中で、自らの思考を表現できるよう日頃から意識しましょう。											
成績評価方法											
リアクションペーパー（30％）：授業内容の理解度確認中間テスト（20％）：授業内容の理解度を確認（7回目授業時に実施）期末試験（50％）：本授業で学習した内容への理解度に対する総合的評価											
履修上の注意											
学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視します。キャリア形成の観点から、授業中の私語、携帯電話の使用などの受講態度などには厳しく対応します。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求めます。授業で学ぶ様々な事象について関連付け・理由付けができるよう、新聞・ニュースなどから幅広く情報を収集するよう心掛け、主体的に参加してください。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。											
教科書教材											
配布資料を使用											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス：授業の概要について理解します。スポーツと行政の関係について理解します。										
第2回	スポーツとソーシャル・キャピタル：ソーシャル・キャピタルとしてのスポーツの在り方について考察します。										
第3回	わが国のスポーツ行政組織とその役割①：主に国および中央省庁の役割について理解し、その望まれる姿について考察します。										

2024年度 日本工学院八王子専門学校	
スポーツ健康学科 スポーツビジネスコース	
スポーツ社会学	
第4回	わが国のスポーツ行政組織とその役割②：主に地方自治体の役割について理解し、その望まれる姿について考察します。
第5回	わが国のスポーツ行政組織とその役割③：主にスポーツ統括団体の役割について理解し、その望まれる姿について考察します。
第6回	スポーツ関連法とその狙い：スポーツ関連法の体系について学び、その課題について考察します。
第7回	スポーツと財政：スポーツにまつわる財政の構造と原理について理解を深めます。
第8回	スポーツ施設、中間テスト：わが国のスポーツ施設の現状と課題について考察します。
第9回	メガイベントとスポーツ政策：オリンピックや国民体育大会の意義について考察します。
第10回	わが国の学校体育政策：学校体育および部活動が果たす役割について考察します。
第11回	スポーツと地域行政：社会的施策および経済的施策としてのスポーツの在り方について考察します。
第12回	地方自治体によるスポーツ産業振興：自治体間競争の過熱を背景としたスポーツを用いた産業振興について、その功罪を考察します。
第13回	総合型スポーツクラブとその施策：総合型スポーツクラブの現状と課題について考察します。
第14回	海外におけるスポーツ政策の実態：主に西ドイツを中心としたスポーツ政策について学び、わが国への影響について考察します。
第15回	まとめ：これまでの議論から、わが国のスポーツ行政について考察します。